

あなたが留守の場合のペットのお世話の仕方を書いてください。

おうちで留守番

[例] 半日くらいの留守ならケージで過ごさせる・一泊二日の留守ならフードと水をおいておけば大丈夫

外部サービスを活用

[例] 1日以上留守ならペットホテルを利用・ペットシッターさんに来てもらう

ペットを病院に連れて行く場合のことも考えて書いてください。

乗り物でのおでかけは、好き？ 嫌い？

好き！ ・ 普通 ・ 嫌い！

移動の手段

[例] 自家用車に乗れる・タクシーに乗れる・自転車に乗れる・バイクに乗れる・バギーに乗せる

運搬の方法

[例] キャリーバッグ、カートに慣れている・猫の場合：キャリーバッグを嫌がるので洗濯ネットを使う

お出かけに必ず用意するもの

[例] ペットシート・お水たっぷり・いつものフード1日分・おやつ多め・予備のリード・タオル・大好きなおもちゃ

ワンポイント
アドバイス

もしものときのことを考えて、
人馴れできるようにしておきましょう。

- 犬や猫が環境に慣れ、他の動物との付き合い方を学ぶ時期を「社会化期」と呼びます。犬なら生後4週齢～13週齢くらい。猫なら3～9週齢くらいといわれています。この短い期間に飼い主以外の人と出会い、親しみながら成長すると社会的でフレンドリーな性格になります。
- 犬の場合は散歩やトレーニングで社会化期を上手にクリアするケースが多いですが、家の中で過ごす猫の場合は社会化期も短く、せいぜい家族になじむだけになってしまいます。そのため、来客があるところこそと隠れてしまったり、あるいは逆にシャーと威嚇したりしてしまいます。猫の社会化はかなり難しいとされています。
- もしものとき、ペットを他の方に委ねなくてはならない事態になると、新たにペットのお世話をする側も、社会化できていないペット自身も大変なストレスに見舞われます。できるだけ、日頃から飼い主以外の人に親しむ機会を作り、他の人間を怖がらないですむよう、社交性を身に付けられるように努めてあげましょう。